

こんにちは 牛越です

【第181回】
秋風立つ日に



大町市長
牛越 徹

さすがの猛暑も去り、ようやく秋風が立つようになりました。先月6日「淡水魚の日」がザ・ビッグの店頭をお借りして開催されました。今年も売り出しの前から多くの皆さんに長い列に並んでいただきました。

大町市は、北アルプスから流れ出る高瀬川や鹿島川などの溪流のイワナや清流のアユ、湖のマスなど、たくさんの方の淡水魚が生息する「水の生まれる信濃大町」です。

主催の大町市漁業協同組合連絡協議会では、日頃から内水面の漁業振興や河川・湖の環境浄化、外来魚対策に取り組まれており「淡水魚の日」には、地元で育った新鮮な魚が、直接水槽から超特価で販売されました。北アルプスの清らかな水で育った魚で、多くのご家庭の食卓を飾っていただくことを期待しています。

同じ日の午後、これも恒例の「北アルプス呑み歩き」が酒だるの鏡開きを合図に、一斉に始まりました。この催しは、平成20年に始まり、今回15回を迎え、県内外の千人を超える皆さんが「きぎ猪口」を片手に、本通り周

辺の地酒の三蔵とクラフトビールのブルワリーを巡り歩きました。大町の高品質の酒米で醸造する三蔵の店頭では、杜氏や蔵人の説明に耳を傾けながら芳醇な香りを楽しみ、また地元ブルメの出店やキッチンカーも並び、夕刻までにぎわいました。

7日には、36年前のオウム真理教による事件の犠牲となった、坂本弁護士長の長男龍彦さんの追悼式が、高瀬渓谷緑地公園の慰霊碑の前で開かれました。式には、日本弁護士連合会の洲上会長をはじめ、坂本弁護士と家族を救う全国弁護士の会のほか、多くの関係者が出席され黙とうを捧げました。献花に続き、私も追悼の言葉を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。

悲惨な事件から長い年月が過ぎましたが、社会正義のために力を尽くされた坂本弁護士が、奥様と幼い龍彦さんとともに、凶悪な犯罪に巻き込まれたことに深い悲しみと憤りを禁じ得ません。事件を決して風化させず、二度とこのような事件が起こらない、人々が安心して暮らせる安全な地域づくりの決意を新たにいたしました。